

明治四年九月

清國領土内之穀物輸
出之商在浦野村事
務官具申之件

外務省

明治四十年九月四日接受

普通郵便

機密第一二二

清國領土内より穀物輸出に關する件

今春以來當港經由北滿洲より本邦各
 地へ輸出セル大豆、麥粉、豆粕、麩等、
 實況に關してハ時々報告セル所ナルカ右穀
 物輸出ハ目今非、將來共當港在留商
 估、取リテハ重大ナル關係ヲ有シ若シ其輸
 出ニシテ一旦杜絶センカ本邦商估、不利少カ
 ラサル義、有之矣當地方ハ戰事中物資
 常ニ缺乏セルカタク平和克復後ハ俄然
 輸入ラ激増シ昨年中當港ニ於ケル輸
 入貿易ハ空前ノ盛況ヲ呈セルカ本年ニ入リテ
 ハ供給超過、狀態、隨リ市況ノ不振、
 又幾ント其極度ニ達スルニ在留本
 邦商估、前類北滿洲輸出穀物ヲ
 取扱フモノ多ク其結果頗ル良好ニシテ輸入
 貿易ノ不振ハ僅カニ於輸出貿易ノ好況ヲ
 以テ幾分相償ヘ居レル有様、美處本年
 北滿洲極北江流域一帶、地方ハ降雨
 少ク到ル處旱魃ヲ訴ヘ今日より輸出
 貿易ノ前途ヲ悲觀スルモノ少カラス特ニ先
 頃來新聞紙、傳フル所ニ據ル清國
 政府ハ遼東半島ニ防穀令ヲ發布セ
 シナト、嚙アリ、吾方以テ若シ北滿洲
 穀物、輸出ヲ禁止スルカ如キニト有之、美テハ



機密 受第2950號

政務局

Handwritten mark resembling a stylized '上' or '止'.

四十年九月廿一日

在浦潮港日本領事館

當港商人ノ為ノ實ニ一大歩撃タルヲ免レサル
ノミナラス延テ本邦穀物商及肥料商ニ
取リ由々穀大事ト被存美尤モ麦粉豆粕
等ハ既ニ原形ヲ變更シクルモノニシテ純然タル
穀物ト認ケル能ハサルカ故ニ穀物トシテ輸出
ヲ禁止スヘキ性質ノモノニアラサルヘシト被存美
得共利權回復熱ノ旺盛ナル今日十六清
國政府ニ於テ如何ナル解釋ヲ採ルヤモ難
計ト存美ニ付其邊シ商量ノ上若シ清
國政府^{海關總署}北港^{天津}海穀物ノ輸出ヲ禁止
セトスルカ如キ場合ニ何卒豫メ申致具
所處置相成美様致交此段具申致具
明治四十年八月廿八日

在浦潮港日本貿易事務館

在浦潮

貿易事務官 野村基信



外務大臣子爵林 董殿